

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	広報紙発行事業		
事業担当	企画政策部 秘書広報課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	平塚市広報規則		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
市政情報やまちの話題など、市民と市の情報共有が進んでいます。		「広報ひらつか」を発行し、市政の動きやまちの話題などの情報を親しみやすく分かりやすい紙面で提供します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	広報紙発行数	単位	部
	説明・算定式	広報紙の発行部数(市内各家庭＋公共機関配布数)		
		平成27年度		
	目標	114,100		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	県広報コンクール	単位	点
	説明・算定式	県広報コンクールの入賞を点数化し、評価する。 最優秀3点・優秀2点・佳作1点とする。		
		平成27年度		
	目標	3		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
3本の連載企画の見直しやお知らせ欄の見出しの変更など広報紙の継続的改善を進めたほか、平成26年全国広報コンクールの広報の部で、入選しました。また、広告枠を拡張できるようにし、掲載希望が多い場合に対応できるようにしました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業 分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	広報紙を活用して市政情報を提供することは、開かれた市政を推進するため必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	広報紙を活用して市政情報を提供することは、情報伝達力が強く、有効性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	広報紙を活用して市政情報を提供することは、市民と行政が情報を共有し、市民参加を進めるとともに、更なる情報格差を生じさせないためにも、妥当性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	広告面の拡張や、DTPシステムの導入など効率化を図っています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		広報紙の紙面充実による行政情報の集約化と質的な向上を図ります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		広報ひらつかの印刷・配布等	広報ひらつかの印刷・配布等	
財源 内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		4,800	
	一般財源		43,894	
事業費 (A)		45,492	48,694	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
紙面構成や掲載内容などの継続的な改善を図ります。また、広告の掲載を継続します。県広報コンクールの結果を成果指標とします。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	平和意識普及・啓発事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'02	2 平和・人権に関する意識啓発を推進する	
根拠法令等	核兵器廃絶平和都市宣言(昭和60年12月20日告示第178号)		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 各種市民団体、学校等】		
目的・目標		事業の概要	
市民が平和の尊さ、大切さを自覚し、市民平和のタベ等の平和推進事業に積極的に参加し、協力しています。		恒久平和を実現するため、核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、平和の尊さ、大切さを訴える平和意識普及・啓発事業を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平和意識普及・啓発事業数				単位	事業
	説明・算定式	1年間に行う平和意識普及・啓発事業の種類数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	13	13	13	12		
	実績	13	13	12			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	平和意識普及・啓発事業参加者数				単位	人
	説明・算定式	1年間に行う平和意識普及・啓発事業のうち市民参加を伴うものに対する参加者数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	5,000	5,000	5,000	6,000		
	実績	3,612	3,625	3,487			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
広く市民に平和の尊さ、大切さを伝えるため、平和キャンペーン、市民平和のタベ、市民広島派遣、空襲・被爆体験をきく会等を計画的に実施しました。							
平成26年度の検証結果	C: 十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	恒久平和の実現に向けての取組みは人類に課せられた共通の義務であり、テーマと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	目先の流行や社会の潮流に流されることなく、地道な活動を続けることが重要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特定の考え方にとらわれることなく、広く市民に訴えかけていく必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	多様な価値観を取組みにいかす必要があることから、市民団体との協働により進めている事業であり、その内容とプロセスに効率化等を求めることは困難であると考えます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 平和に対する考え方は個人によって異なることから、行政がひとつの考え方を強制することなく、市民団体と協働で実施することを通じて、市民自らが平和に対する関心を持ち、平和についての理解と認識を深めていくための意識啓発が図られる必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		市民平和のタベ、市民広島派遣、市民キャンペーンの開催等	市民平和のタベ、市民広島派遣、市民キャンペーンの開催等	市民平和のタベ、市民広島派遣、市民キャンペーンの開催等	市民平和のタベ、市民広島派遣、市民キャンペーンの開催等
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	2,182	2,048		2,107
事業費 (A)		2,182	2,048	1,988	2,107

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
引き続き、平和キャンペーン、市民平和のタベ、空襲・被爆体験をさく会等を通じて、広く市民に平和の尊さを訴え、平和の大切さを市民とともに考える活動を展開します。

事業評価シート（平成26年度分）

1 頁

1. 事業の位置付け

事務事業名	就労支援事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	③〈新しい芽〉リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'03	3 就業の場における処遇の公正化及び男女雇用機会の均等化並びに雇用の安定拡大を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
就労を希望する市民の就職が実現しています。また、若年無業者（ニートと呼ばれる人）が就労へ向けた行動をとれるようになっています。		就職希望者に対する企業合同面接会開催や、就労に向けたセミナー等の開催により、市民の就職へ向けた活動を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	就労相談等の開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	14	15	28	28		
	実績	16	23	30			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	就労相談等の参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	240	280	340	340		
	実績	253	291	362			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
各種の就労支援セミナーを国、県の関係機関等と連携して実施するとともに、就労相談事業の充実を図りました。また、就職面接会について、近隣市との共催により内容を拡充して実施したことで、求職者の就労支援や、企業との効率的なマッチングが実現しました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	就労支援は、求職者の就職や企業への定着といった雇用の安定を図る事業であり、必要性は高いです。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	就職面接会を近隣市と共催で実施することで、規模を拡充し、また、就労相談についても日数を増加して実施しています。各支援施策への参加者も増加しており、市として継続した取り組みが求められます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	雇用の促進が図られ、勤労者の生活安定と向上が図られることから、妥当性は高いです。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	国、県、近隣市等と連携して実施する他、一部業務をノウハウのある民間企業に委託することで、効率的な事業運営を図っています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 企業の採用意欲が高まっている現状の中で、効果的な支援の検討や、国、県、市による雇用関係施策の整理を行い、求職者や求人企業のニーズを捉えた事業を実施していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		就職面接会、就労支援セミナー、就労相談の開催	就職面接会、就労支援セミナー、ニート支援セミナー等の開催	就職面接会、就労支援セミナー、ニート支援セミナー等の開催	就職面接会、就労支援セミナー、ニート支援セミナー等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	910	813		2,242
事業費 (A)		910	813	1,844	2,242

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
国、県等の関係機関と連携を図り、求職者や求人企業のニーズを捉えた相談会、各種セミナー及び面接会を実施します。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	産学公共同研究支援事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'03	3 世界の市場を視野に入れて、産業間の交流や産学公の連携を進める	
根拠法令等	平塚市産学共同研究事業化支援補助金交付要綱		
対象・受益者	市内中小企業、市内農漁業者、大学等	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 大学等 】		
目的・目標		事業の概要	
技術開発や新製品が開発され、産業の活性化が図られています。		中小企業者等の経営の安定化を図るため、産学公の共同研究による新製品、技術開発等の事業化を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パンフレット発行部数(平成25年度から)				単位	部
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		1,000	1,000	1,000		
	実績		1,178	1,162			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	平塚市産学共同研究事業化支援補助金交付件数(平成25年度から)				単位	件
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		3	4	4		
	実績		3	2			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
製品の特性や信頼性向上などに関する市内企業と大学との共同研究2件に対し、費用の一部を補助し、中小企業の技術力向上による競争力の強化を図りました。							
平成26年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中小企業者等では独自の研究施設や製品開発等に関するノウハウを持たないことが多いため、大学等との共同研究により新製品の開発、経営革新を図ることに対して支援することの必要性は高いです。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	中小企業者等の技術力・開発力の向上につながるため、有効性は高いです。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中小企業者等の技術開発を図り、産業の発展を持続させることを支援するため、妥当性は高いです。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業分野が多岐にわたることから、ニーズの掘り起こしを効率的に行うことが難しいため、商工会議所等との連携や企業訪問等を行うことにより効率的な事業運営を図っていきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 県や商工会議所等の支援機関との連携や企業訪問等を通じて、中小企業者等のニーズを掘り起こすとともに、中小企業者等と大学等が情報交換する場の充実を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		コーディネーターの派遣、 共同研究への助成	産学共同研究への助成	産学共同研究への助成	産学共同研究への助成	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	
	県支出金	0	0		0	
	起債	0	0		0	
	その他 特財	0	0		0	
	一般財源	2,000	1,214		2,000	
事業費 (A)		2,000	1,214	1,000	2,000	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
企業訪問等を通じて中小企業のニーズを把握するとともに、テクノフェアなどを活用して産学の連携促進を図っていきます。

事業評価シート（平成26年度分）

1 頁

1. 事業の位置付け

事務事業名	テクノフェア推進事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'03	3 世界の市場を視野に入れて、産業間の交流や産学公の連携を進める	
根拠法令等	湘南ひらつかテクノフェア推進事業補助金交付要綱		
対象・受益者	市内企業、大学	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 平塚商工会議所】		
目的・目標		事業の概要	
企業間の連携・取引の促進、企業と大学等との技術交流が行われ、工業の活性化が図られています。		工業の活性化のため、企業等が製造した製品を展示し、PRするとともに交流を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	テクノフェア出展企業・団体数				単位	団体
	説明・算定式	テクノフェアへの出展企業・団体数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	120	120	120	120		
	実績	133	126	108			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	商談件数				単位	件
	説明・算定式	テクノフェア開催中の商談件数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	590	600	610	610		
	実績	630	589	721			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
108の企業・団体の参加により湘南ひらつかテクノフェアを3日間開催し、販路の拡大や企業間等の交流を促進しました。10周年記念事業として開催した「ものづくり基調講演」及び「ソーラーカー展示・紹介」は、来場者へのアンケート結果からも大変好評でした。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	企業などが製造した製品を展示し、PRするとともに産学公の交流を図るためテクノフェアを実施することは、産業の活性化のために必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続することにより販路の拡大や業務提携がさらに拡大されるなど有効性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	企業間の連携・取引の促進、企業と大学等との技術交流が行われることで産業の活性化が図られるため、補助額を含め、妥当性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	平塚商工会議所や関係団体が連携し、実行委員会形式で実施することで効率的な事業運営を図っています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		販路の拡大や企業間等の交流の促進を図るため、出展企業や団体を増やす必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		テクノフェアの開催	テクノフェアの開催	テクノフェアの開催	テクノフェアの開催	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	
	県支出金	0	0		0	
	起債	0	0		0	
	その他 特財	0	0		0	
	一般財源	2,800	2,800		2,800	
事業費 (A)		2,800	2,800	3,000	2,800	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
アンケート調査等を実施しながら、出展者や来場者のニーズの把握に努め、内容の充実を図りながら推進していきます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	中小企業退職金共済掛金補助事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	平塚市中小企業退職金共済掛金補助要綱		
対象・受益者	市内中小企業者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
市内中小企業で働く勤労者が、退職後の生活の安定が見込めることにより、安心して働けるとともに、中小企業への就職が促され、産業の振興が図られています。		勤労者の福利厚生向上及び中小企業の振興を図るため、中小企業退職金共済等の掛金の一部を補助します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	加入促進のための広報回数	単位	回
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標	2		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	補助金交付対象事業所数	単位	事業所
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標	90		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
補助金の交付対象である91の事業所中、64の事業所の事業主に対して退職金共済掛金の一部補助を行い、市内中小企業の従業員の福祉の向上と雇用の安定を図りました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市内中小企業従業員の福祉向上や雇用安定、中小企業振興の観点から、必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	退職金共済掛金の一部を3年間補助することにより、中小企業の負担軽減及び加入促進を図っており、有効な事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中小企業の経営基盤強化のために、退職金制度の整備を支援することは重要であり、妥当性は高いです。補助内容については、対象者へのアンケート等により妥当性を測っています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	中小企業退職金共済制度を運営している独立行政法人等と連携し、効率的な補助金の交付事務及び制度周知を行っています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 中小企業の退職金制度の整備を支援するため、引き続き退職金共済制度や市の補助金制度に関する周知を効果的に実施していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		中小企業退職金共済掛金補助金の交付	中小企業退職金共済掛金補助金の交付	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		1,817	
事業費 (A)		1,325	1,817	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
市のホームページや情報紙「勤労ひらつか」等を活用して制度周知に努めます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農作物鳥獣被害対策事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	鳥獣保護法、鳥獣被害防止特措法		
対象・受益者		事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
	鳥獣による農業被害が防止されています。	鳥獣の捕獲檻を活用して適正に捕獲するとともに、防除用資材の購入に対して補助し、鳥獣による農業被害を軽減します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	有害鳥獣の捕獲出動回数	単位	回
	説明・算定式	農作物被害防止のため、野生鳥獣を捕獲にあたる出動回数		
		平成27年度		
	目標	30		
	実績			
活動指標②	指標名	農作物鳥獣被害に対する補助金のPR回数	単位	回
	説明・算定式	農作物被害防止のため防除資材購入経費の一部を補助する事業の広報、農業者向けの説明等の回数		
		平成27年度		
	目標	12		
	実績			
成果指標①	指標名	有害鳥獣の捕獲数	単位	頭・羽
	説明・算定式	農作物被害軽減のため有害鳥獣の捕獲を実施		
		平成27年度		
	目標	350		
	実績			
成果指標②	指標名	平塚市農作物鳥獣被害対策事業補助申請普及率	単位	%
	説明・算定式	農作物被害防止のため、防除資材購入経費の一部を補助普及率を前年度と比較（補助金申請件数の前年度に対する上昇率）		
		平成27年度		
	目標	20		
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
<p>広域的な農業被害の軽減と対策のために平塚市、大磯町、二宮町及び農協、地元猟友会で組織された湘南有害鳥獣対策協議会において、イノシシ、カラスなどの捕獲をはじめ狩猟免許の取得講習会や研修会を実施しました。また、国の交付金を活用し対策の強化を図るために鳥獣被害防止特措法に基づき平塚市鳥獣被害防止計画を策定しました。農作物被害防止のための防除資材購入経費の一部を補助する事業を継続して実施しました。</p>				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「鳥獣による農林水産業等に係る被害防止のための特別措置に関する法律」では市の役割として鳥獣被害防止施策の実施に努めるものとされています。また、有害鳥獣から農作物を守ることで農業経営の安定化を図ります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	有害鳥獣の被害は年々増加しているため、継続的に実施する必要があります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	鳥獣被害を軽減することで、安心して農作物を収穫し、農業経営を安定化させることができます。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	農協などの関係機関と農業者が連携して取組むことにより被害を防止することができます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 鳥獣による農作物被害が増加するなか、行政及び農協など関係機関と農業者が連携して鳥獣捕獲や自主防除の補助制度の促進するとともに、平塚市鳥獣被害防止計画に基づき広域的な侵入防護柵の設置、藪の刈り払いなど新たな取組を含めた被害対策を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		鳥獣による農作物への被害防止のための対策を行います。	鳥獣による農作物への被害防止のための対策を行います。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		347	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		1,528	
事業費 (A)		1,334	1,875	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
有害鳥獣による農作物被害を削減するために鳥獣捕獲の向上や捕獲に関する研修、広域的な侵入防護柵の設置など被害対策を推進していきます。また、農業者及び関係機関と協議を継続的に行い、対策を図っていきます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	畜産振興対策事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等			
対象・受益者	畜産農家	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標	事業の概要	
	家畜の改良発達と畜産農家の生産振興に対する意識が高まるとともに、市民の畜産業への理解が高まります。	畜産農家の生産意欲高揚と市民の畜産業への理解促進を図るために、畜産共進会等の開催や自給飼料作物種子代の一部を補助します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	共進会の周知・PR	単位	回
	説明・算定式	ポスターの掲示による共進会の周知・PR		
		平成27年度		
	目標	1		
	実績			
活動指標②	指標名	補助金申請に関する周知・PR数	単位	回
	説明・算定式	文書、集会における補助金申請のPR		
		平成27年度		
	目標	5		
	実績			
成果指標①	指標名	平塚市畜産共進会入場者数	単位	人
	説明・算定式	入場者数		
		平成27年度		
	目標	1,250		
	実績			
成果指標②	指標名	自給飼料栽培面積	単位	m ²
	説明・算定式	補助金の申請のあった自給飼料の栽培面積		
		平成27年度		
	目標	174,700		
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
第62回畜産共進会を開催し、家畜の改良発達と生産振興に対する畜産農家の意識高揚と合わせて、市民の畜産業理解促進を図りました。また、飼料高騰対策として、自給飼料作物種子代の一部を補助し、畜産農家の経営の安定及び農地の遊休化防止や保全に寄与しました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県内有数の畜産農家数である平塚の畜産業振興のため、畜産共進会を開催し、家畜の改良発達と生産振興に対する畜産農家の意識高揚を図るとともに、市民の畜産業に対する理解の促進を図ることが必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	畜産共進会を継続して開催することにより、市民と生産者がふれあう機会を提供し、市民の畜産業への理解促進につながります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	畜産生産環境が厳しくなるなか、畜産共進会等による市民の畜産業に対する理解の促進は、今後の畜産業を守っていくために妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	畜産経営を圧迫する原因のひとつである飼料高騰対策に対する直接的な補助、畜産業理解促進のための大きな機会である畜産共進会開催に対する補助は事業効果が高いです。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 平塚市においては市民の生活と畜舎が近い状況が多く、市民の畜産業への理解が不可欠であり、今後も継続して畜産共進会を開催することで、市民が直接農家や牛、豚とふれあう機会を充実し、より市民の畜産業への理解を深める必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		畜産農家の生産意欲高揚と市民の畜産業への理解促進を図ります。	畜産農家の生産意欲高揚と市民の畜産業への理解促進を図ります。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		2,745	
事業費 (A)		2,677	2,745	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
市民への畜産業理解を図っていくために畜産共進会を実施します。また、平塚市畜産会への補助及び自給飼料作物栽培促進対策補助を畜産振興対策として取り組んでいきます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	水産振興推進事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	水難救護法、栽培漁業導入推進事業補助金交付要綱ほか		
対象・受益者	漁業者、遊魚利用者、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
海域の安全利用と水産業の振興が確保され、漁業者の経営が安定しています。		地域漁業の発展のため、漁業協同組合等が行う事業活動や漁業者の設備導入に対する支援と水難救護法に基づく団体や水産関係各種団体に対して経費の一部を負担します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ヒラメ等の稚魚放流量	単位	尾
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標	17,000		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	ヒラメ等の水揚量	単位	トン
	説明・算定式	年間		
		平成27年度		
	目標	650		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
6次産業化やその他漁協等が行う事業活動や漁業者の設備導入に対する支援をするとともに、水産物のブランド化事業や水難救護法に基づく団体等への補助を行い、水産業の振興や漁業の活性化が図られました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	持続的な水産振興を図るためには、漁協や漁業者に対するニーズに合った支援が求められています。水難救護については、市の業務を補完するものとして必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	漁協や漁業者への継続的な支援は、漁業の活性化に資するものです。水難救護への支援は、海域の安全利用につながります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	漁業者等への支援は、水産業の振興につながります。各種団体の連携により、水難救護体制が整っています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	水産業の振興手段として、積極的に産業間連携を図るとともに、振興施策に取り組んでいる水産関係団体へ支援を行っていきます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 水産振興を図り、漁業者の自立や持続的な漁業経営を維持するためには、6次産業化等による地産地消や販路拡大をさらに促進していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		漁協等の活動に対する支援と水産各種団体に経費の一部を負担します。	漁協等の活動に対する支援と水産各種団体に経費の一部を負担します。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		276	
	一般財源		924	
事業費 (A)		1,354	1,200	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
6次産業化の拡大を含め漁協、漁業者及び水産関係団体への支援を行うとともに、水難救護活動への支援を行います。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある花火大会開催事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか花火大会実行委員会	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市内観光事業への市民参加が広がるとともに、多くの人が花火大会を訪れ、平塚八景である湘南潮来、平塚砂丘夕映えの名所PRや、市内の観光振興が図られています。		観光振興のため、市民の出資等市民参加による、にぎわいと魅力ある花火大会を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	願かけ花火の周知手段数				単位	件
	説明・算定式	ホームページ、広報ひらつか、募集チラシ、ダイレクトメール、大会プログラム					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	5	5	5	5		
	実績	5	5	5			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	観客数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	140,000	150,000	150,000	150,000		
	実績	150,000	120,000	150,000			
成果指標②	指標名	願かけ花火申込件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	490	490	490	490		
	実績	463	440	492			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
8月22日(金)に15万人の観光客を迎え開催しました。観光協会や商工会議所と協力し、協賛金の確保と市民参加の充実を図るため願掛け花火のPRを実施しました。協賛金は、一般協賛、願掛け花火とも昨年を上回り、約50万円の増となりました。安全対策として、昨年に引き続き、警察署、消防本部、西湘イベント商業協同組合が協力して全ての露店を巡回しての点検と指導を実施しました。また、新堤防での観覧スペースを設けるとともにその警備に力をいれました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	湘南ひらつかの夏の風物詩として打上げ会場への来場者も多く、市民のニーズは高いと考えられます。安心・安全な開催を確保するため、市の関与が必要と考えています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	夏の風物詩として花火大会を継続して開催することは、市民満足度を高めるに有効です。また、湘南地域の近隣市町と開催日を調整して花火大会を開催しているため、地域全体のイメージアップに寄与しています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	願掛け花火や企業協賛を取り入れ、市民参加、協賛を増やし、商工会議所等と連携して花火大会を開催することは、市民の郷土愛、満足度を高めること、また受益者負担、執行体制分担の観点から妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民参加や市民協賛(企業協賛を含)を確保するとともに、コスト面においても効率的に花火大会を開催を進めていく必要があります。また、実施による経済効果を高める必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 効率的な開催や経済効果のアップを図るためには、花火大会の運営主体の見直しが必要です。また、受益者負担と観覧席の警備費等経費の確保の観点から協賛を活用することが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	
	県支出金	0	0		0	
	起債	0	0		0	
	その他 特財	0	0		0	
	一般財源	8,000	7,800		8,000	
事業費 (A)		8,000	7,800	8,000	8,000	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
市民協賛である願掛け花火のさらなるPRを行うとともに、協賛金の増加について積極的に取り組みます。また、関係団体との役割分担などで調整を行い、より経済的かつ効率的な開催を検討します。併せて観光名所のPRを行います。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	七夕まつり開催事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'01	1 人々が集まり、にぎわいと活気にあふれる街づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか七夕まつり実行委員会	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市内観光事業への市民参加が広がるとともに、多くの人が七夕まつりを訪れ、市内の観光振興が図られています。		観光振興のため、市民参加による七夕飾りの充実等により、七夕まつりを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	七夕ボランティア募集の周知手段数				単位	件
	説明・算定式	七夕まつりホームページ、広報紙、SCN、ローカル紙					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	4	4	4	4		
活動指標②	指標名	七夕まつり周知ポスター、プログラム配布枚数				単位	枚
	説明・算定式	はがき、宣伝ポスター、交通規制図、行事プログラム、会場案内図					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	215,980	339,056	165,350			
成果指標①	指標名	七夕ボランティア参加者数				単位	人
	説明・算定式	自主清掃活動団体、案内所、クリーンキャンペーンクリーンタイム、七夕道案内					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	1,025	1,076	1,032			
成果指標②	指標名	七夕まつり市民協力・子ども竹飾り参加団体数				単位	団体
	説明・算定式	市民飾り、子ども飾り					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	51	49	52			
進捗状況	②：若干遅れている						
	遅れている理由	七夕まつり周知ポスター等について、配布場所や配布方法を精査し、効率化を図ったため					
平成26年度の主な取組と成果							
第64回の七夕まつりは、実行委員会主催とし、商工会議所青年部と青年会議所が中心となりボランティア募集と説明会を実施し、クリーンボランティア、イベントボランティア、七夕飾りボランティア、観光案内ボランティアへの市民参加を拡充しました。飾り委員会と飾り掲出促進特別委員会等活動により湘南スターモールの七夕飾りが昨年より1本増えました。また、オープンカーと音楽隊による織り姫パレードを4年ぶりに開催しました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	七夕開催への市民ニーズとともに、市民との協働の推進と市内の商業振興及び観光PRのために必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	飾りの掲出をはじめとして市民との協働を継続的に推進することにより、七夕まつりを楽しんでもらう、開催への関心を深めてもらうために有効です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 ■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	日本の代表的な七夕まつりとして定着しており、商業の振興と観光の活性化のため、企業協賛やボランティアを活用、商工会議所等との連携を図り、七夕まつりを継続することは、妥当です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	市民による自主警備や自主企画及びボランティア参加の仕組みづくりを進め、経費の節減と効率的運営を進めていく余地があります。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高 ● 中 ○ 低
<p>今後に向けた課題の分析</p> <p>主催者である実行委員会で、開催における経費、安全、環境、飾りの継続掲出、開催場所周辺の居住環境の変化等を踏まえ、市民に愛され、永く継続可能な七夕まつりとしていくために、検討と議論を進め、七夕まつりに来てもらう、参加してもらうなど七夕まつりへの関わりをもってもらう方を確立していく必要があります。</p>				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		七夕まつりの開催	七夕まつりの開催	七夕まつりの開催	七夕まつりの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	60,000	63,646		60,472
事業費 (A)		60,000	63,646	60,000	60,472

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
<p>経済的かつ効率的運営を行うため、各団体等と役割分担を行い、さらに運営への市民参画を促進させ、市民の市民による市民のための七夕まつり開催を目指します。また、飾りの製作やステージへの参加、ボランティアへの参加など七夕まつりへの市民参加をさらに進めます。</p>

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民活動普及啓発事業		
事業担当	市民部 協働推進課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'02	②〈市民力〉 市民一人一人の主体的な参加により、地域で支え合う環境をつくる	
	'01	1 地域を支える活動に参加する意識を高める	
根拠法令等	平塚市市民活動推進条例、ひらつか市民活動センターの設置及び管理に関する条例		
対象・受益者	市民・市民活動団体	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
社会を構成する市民・団体・各種組織が、市民活動に積極的に参加し、地域課題の解決等に取り組んでいます。		市民活動の活性化に向け、市民活動センターを活動拠点とし、各種講座の開催や関連情報の収集・発信を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	各種講座等開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	18	18	18	18		
	実績	22	26	25			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ひらつか市民活動センター利用者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	51,000	52,000	53,000	54,000		
	実績	49,442	47,930	52,355			
成果指標②	指標名	体験型ボランティア育成事業参加者数(平成26年度から)				単位	人
	説明・算定式	「ユースボランティア」及び「ボランティア&市民活動見本市」の参加者数の合計					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標			110	120		
	実績			120			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
市民活動の普及と市民活動団体のスキルアップ・人材獲得を目的とした講座を開催したほか、各種交流会等を開催し団体間の連携を促進しました。また、青少年向けの「ユースボランティア」、一般市民向けの「ボランティア&市民活動見本市」等、市民活動やボランティア活動への参加のきっかけづくりを行いました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民活動への理解と積極的な参加を促進するために、市民活動の拠点を充実させ、講座等で啓発や学習の機会を提供していくことは必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	様々な機会の提供により市民活動が活性化されることで、自主的に地域課題に取り組む市民が増え、互いに支え合う地域社会の形成に有効であると考えます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	団体のニーズに対応した講座等を開催することは、新しい公共の担い手である市民活動団体の育成につながると考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	継続的・発展的に活動できる団体を育成することが市民活動のさらなる活性化につながるため、市民活動団体の組織力強化に向けた講座等を多く実施していきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 市民活動の活性化には市民活動団体の組織力強化が不可欠であるため、今後は財源確保・人材育成・情報発信・組織マネジメント等をテーマにした取り組みを行っていく必要があります。また、市民活動やボランティア活動を市民に広く知ってもらい、活動への参加を促進するための情報発信が重要となります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		各種講座の開催や活動支援情報の提供等	各種講座の開催や活動支援情報の提供等	各種講座の開催や活動支援情報の提供等	各種講座の開催や活動支援情報の提供等
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	2,358	1,213		1,492
	一般財源	15,001	14,454		15,473
事業費 (A)		17,359	15,667	15,864	16,965

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
市民活動団体の組織力強化に向けて各種講座等の充実を図るとともに、市民活動センターの機能強化を進めていきます。また、市民活動やボランティア活動への市民の参加促進に努めます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	自治会館等整備助成事業		
事業担当	市民部 協働推進課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等			
対象・受益者	自治会、町内会(市民)	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：自治会】		
	目的・目標	事業の概要	
地域活動の拠点となる自治会館などの整備がされ、コミュニティ活動が活性化しています。		自治会館の新築、増改築、補修、建物の購入及び土地の取得等に対し、事業費の一部を助成します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	補助金の周知回数	単位	回
	説明・算定式	平塚市自治会連絡協議会の定例役員会や自治会回覧での補助金制度周知回数		
		平成27年度		
	目標	2		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	自治会館の利用率	単位	%
	説明・算定式	補助金交付年度における補助対象施設の補助金交付後の利用日数／補助金交付後の合計日数×100		
		平成27年度		
	目標	25		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
自治会等地域の要望を踏まえ、地域活動の拠点となる会館の増改築(4件)、補修(6件)など自治会館整備を支援し、会館を利用したコミュニティ活動が活発に展開されました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	自治会館の新築、増改築、補修などの整備に対して補助し、安定した地域活動の拠点確保を支援することでコミュニティ活動の活性化を図る事業であり、必要性が高いと考えられます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域自治を推進する観点から、地域課題解決のための協議の場である自治会館の整備は有効性が高い事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	受益者負担や補助額は、近隣市と同水準にあり、妥当性が高い事業です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	年度途中での変更や緊急な修繕に対応するため、効率的な制度運用を図ることが課題です。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 地域活動の拠点となる自治会館の計画的な整備に向けて、効率的な制度の運用が出来るよう、事業を進めていく必要があると考えています。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		自治会館の新築や補修、土地の取得等に対し補助をする。	自治会館の新築や補修、土地の取得等に対し補助をする。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		17,328	
事業費 (A)		2,328	17,328	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
自治会等のニーズを把握し、地域が必要とする整備が行えるよう支援をしていきます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	友好都市交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・企業	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・企業】		
目的・目標		事業の概要	
高山市、花巻市、伊豆市と平塚市の市民や企業との交流が活発に行われています。		文化やスポーツ、産業を発展させるため、友好都市等と幅広い交流を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	13	15	13	15		
	実績	13	16	19			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交流事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	320	340	340	360		
	実績	428	421	509			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
花巻市と友好都市30周年記念式典を開催したほか、花巻市との魅力あふれる交流事業、イベントを計画どおり行いました。また、平塚市民が伊豆市を満喫する市民ツアーを初めて開催しました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	産業、文化、スポーツ等を通じて交流することは、友好都市相互の産業発展や文化の醸成につながり、必要性は高いです。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市間交流を継続することは、豊かな人間性を育むうえで有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実施事業によっては、受益者負担の見直しを検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相互事業の市民ツアーについてより効率的な交流内容や経費の見直しを検討する必要があるとともに、友好都市合同事業で新規事業を企画する必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 交通運賃の値上げに伴い、市民ツアーの見直しをするとともに、市民が積極的に参加いただける交流事業の検討が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	2,204	1,804		2,229
事業費 (A)		2,204	1,804	2,106	2,229

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
事業ごとに内容を精査し、より多くの市民が友好都市と交流が継続的に行えるように見直し、新規事業を検討します。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	災害救助事業		
事業担当	福祉部 福祉総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	平塚市災害弔慰金の支給等に関する条例、平塚市災害見舞金等支給要綱		
対象・受益者	災害による被災者及び死亡した者の遺族	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
被災者や遺族が、生活再建に向けて行動しています。		被災者や遺族の生活再建の一助のため、弔慰金、見舞金の支給及び生活再建資金の貸付を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	周知媒体数	単位	件
	説明・算定式	ホームページ、広報ひらつか、防災ガイドブック等		
		平成27年度		
	目標	3		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	災害見舞金等の支給件数	単位	件
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標	25		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
ホームページ等で災害見舞金等支給制度の周知を行い、災害弔慰金2件及び災害見舞金81件（全焼6件、半焼1件、消火損害3件、床上浸水68件、土砂等の堆積3件）の支給を行いました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	被災者や遺族への応急的な援助のために必要な事業です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	支給要件に該当する世帯に全て支給できており、成果はあがっています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	被災者や遺族の生活復旧に役立っていることから妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	災害発生から見舞金等の支給までの期間をより短縮します。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 災害見舞金等支給制度を知らない方もいるため、当該制度に関するより一層の周知と、災害見舞金を受け取ることができる方で、災害見舞金の請求をされていない方については、手続き勧奨が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		災害弔慰金・見舞金の支給	災害弔慰金・見舞金の支給	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		2,000	
事業費 (A)		3,740	2,000	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
関係課との連携を密にしなが、災害見舞金等の受付事務を迅速に進めるとともに、災害見舞金を請求されていない方への手続き勧奨を行います。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	重度障害者医療費給付事業		
事業担当	福祉部 障がい福祉課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	重度障害者の医療費の助成に関する条例		
対象・受益者	重度障がい者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
	重度障がい者の医療費の負担が減っています。	重度障がい者に対して、医療費を助成します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	重度障がい者医療費助成制度の制度説明回数	単位	回
	説明・算定式	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳説明会回数		
		平成27年度		
	目標	38		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	重度障害者医療費助成制度の利用率	単位	%
	説明・算定式	該当者が重度障害者医療費助成制度を利用している率		
		平成27年度		
	目標	100		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
6,349人の重度障がい者(件数:183,108件)に医療費自己負担分の助成を行ったことにより、重度障がい者の健康の保持・増進を図ることができました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	就労機会に限られ、経済的基盤が弱く、医療的ケアの必要性が高い、重度障がい者にとっては欠かせない助成となっています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	保険医療費の自己負担分を助成することにより、重度障がい者の早期の治療及び治療の継続に繋がっています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	保険医療費の自己負担分を助成することにより、重度障がい者の健康保持及び福祉の増進が図られています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	県内保険医療機関及び保険薬局への支払業務は、神奈川県国民健康保険団体連合会に委託し事務の効率化を図っています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 市民サービスの向上、医療費の適正な助成及び事務の効率化を図る観点から、審査支払業務の一部について、委託先の変更を検討する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		重度障害者の医療費の助成	重度障害者の医療費の助成	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		316,960	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		748,115	
事業費 (A)		901,317	1,065,075	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
審査支払業務の一部について、近隣市町の動向を注視し、市民サービスの向上、医療費の適正な助成及び事務の効率化を図る観点から、委託先の変更を検討します。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	心身障害者福祉手当支給事業		
事業担当	福祉部 障がい福祉課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	平塚市心身障害者福祉手当条例		
対象・受益者	在宅障がい者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
在宅の重度障がい児者の福祉の増進と生活の向上が図られています。		心身に重度の障がいをもつ障がい児者に心身障害者福祉手当を支給します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	心身障害者福祉手当の周知(メディア種類数)	単位	種類
	説明・算定式	広報ひらつか、ホームページ、ミニ運動会、制度案内		
		平成27年度		
	目標	4		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	心身障害者福祉手当の支給率	単位	%
	説明・算定式	該当者に心身障害者福祉手当を支給している率		
		平成27年度		
	目標	100		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
6, 260人に心身障害者福祉手当を支給したことにより、在宅の重度障がい者の生活の向上を図ることができました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	在宅重度障がい者の福祉の増進、生活の向上を目的とした事業として始まりましたが、事業の見直しの必要性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	低所得の在宅重度障がい者の経済的負担の軽減を図るための一助としての有効性はあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	障がい者の所得保障のあり方と高額所得者を含む一律支給の是非を検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	条例に基づき適正かつ効率的に処理するとともに事務経費については効率化に努めます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 障がい者の地域生活を支えるサービスを充実させるために、高額所得者を含めた所得保障として一律支給している手当を見直す必要性があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		心身障害者福祉手当支給	心身障害者福祉手当支給	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		231,624	
事業費 (A)		227,901	231,624	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
手当の対象者の見直しの実施に向けて、準備期間として周知等を行います。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	平塚市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例		
対象・受益者	ひとり親家庭等の親や養育者とそのこども等	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
	ひとり親家庭等の医療費負担が減っています。	ひとり親家庭等に対し、医療費の一部を助成します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ひとり親家庭等の医療費助成制度を周知する延人数	単位	人
	説明・算定式	ひとり親家庭等の医療費助成制度を転入や出生などの住民異動のときに説明するとともに、更新の通知をします。		
		平成27年度		
	目標	2,500		
	実績			
活動指標②	指標名	医療証発行者数	単位	人
	説明・算定式	医療証を発行した人数		
		平成27年度		
	目標	6,000		
	実績			
成果指標①	指標名	診療件数	単位	件
	説明・算定式	レセプト(医療機関が保険者である市町村や健康保険組合などに請求する医療費明細書等)の件数		
		平成27年度		
	目標	75,000		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
ひとり親家庭等の生活の安定と自立を図るため、母子家庭・父子家庭等に対し医療費の助成を行いました。				
平成26年度 の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	ひとり親家庭等に医療費の助成をすることは、ひとり親家庭の生活の安定と自立を図るために必要性が高い事業です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	ひとり家庭等の医療費を助成することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立が図られるため有効性の高い事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を図ることが目的であるため、制度の趣旨を踏まえ、一部負担金の導入はしていません。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	システム等を活用し、効率的に事務を進めています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 経費の削減に向けて、業務委託先変更の検討が必要です。また、引き続き、システムの活用など、業務の効率的な運営を図ります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		ひとり親家庭等の福祉の増進を図るため、医療費の保険医療分を助成	ひとり親家庭等の福祉の増進を図るため、医療費の保険医療分を助成	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		95,891	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		109,686	
事業費 (A)		191,323	205,577	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
システムを活用し、効率的な業務の運営を図ります。また、経費の削減に向けて、業務委託先の変更の検討を行います。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年健全育成催事事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'01	1 いのちを大切に作る心を持ち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 青少年(育成)団体】		
目的・目標		事業の概要	
明日を担う青少年が心身ともに健やかに育成されています。		青少年が健やかに成長していくため、親や地域の大人、あるいは青少年同士が交流を深めるとともに、青少年の日頃の活動に対する発表の機会や活躍の場となる各種イベントを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	子ども大会開催地区数				単位	地区
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	28	28	28	28		
	実績	28	28	28			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	子ども大会参加率				単位	%
	説明・算定式	市内全児童数に対する参加児童数の割合					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	50	50	50	50		
	実績	44.7	44.6	46.8			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
<p>青少年の健全育成や青少年団体の交流と連携を目的として、子ども大会・成人式・浅間祭・青少年健全育成のつどい・青少年会館自主事業・青少年交流体験事業を開催しました。成人式や青少年健全育成のつどいについて、地元企業の協賛を募る取り組みが定着しました。</p>							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	青少年催事は、市民を加えた実行委員会が企画し、運営のほとんどを市民協働で行っています。青少年健全育成を求める社会的要求や、市民に活動・活躍の場を提供する等の観点で、十分必要性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	次世代育成に有効である上、市民協働による本事業の運営は、サービスする側・される側の両面で、市民満足度の向上につながっていることから、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業の企画運営に青少年を参加させることで健全育成が実現されている上、青少年をはじめとする市民の参加意識の醸成が図られている点から、事業の目的・対象・内容について十分に妥当性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民協働や実行委員会委託を活用することで、行政の関与が最小限に抑えられており、効率的な運営が図られています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 市民協働という形での実施をより強固にしていくため、常に協働する市民の意見を反映した内容になるように心がけることが必要と考えます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	
	県支出金	0	0		0	
	起債	0	0		0	
	その他 特財	0	0		0	
	一般財源	7,580	7,011		6,246	
事業費 (A)		7,580	7,011	6,949	6,246	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
市民協働・市民参画を前提とした事業であるので、より多くの市民に積極的に企画や運営に参加してもらえるようPRに努めます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ごみ減量推進事業		
事業担当	環境部 循環型社会推進課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働：ごみを生かす会】		
	目的・目標	事業の概要	
	ごみの減量化及び資源化が進んでいます。	ごみの減量化及び資源化に関する各種啓発活動や助成を行います。あわせて、生ごみ自家処理相談員を中心とした講座等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ごみの減量化・資源化啓発活動の実施数	単位	件
	説明・算定式	ごみの減量化・資源化につながる啓発活動の実施数(啓発チラシの回覧数・ごみ減量化推進委員会の活動数・生ごみの減量化・資源化活動数・ごみ減量化・資源化協力店制度のPR数)		
		平成27年度		
	目標	19		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	1人1日当たりのごみの排出量	単位	g
	説明・算定式	市が処理に関与する一般廃棄物の総排出量/各年度10月1日現在の人口/各年度の日数		
		平成27年度		
	目標	912		
	実績			
成果指標②	指標名	ごみ資源化率	単位	%
	説明・算定式	総資源化量(=中間処理後資源化量+焼却残渣資源化量+集団回収量)÷ごみの総排出量×100		
		平成27年度		
	目標	25.6		
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
ごみの減量化、資源化を推進するため、市民団体への交付金をはじめ、市民協働事業の実施などを通じて、ごみの減量化や資源化の活動を行いました。平成26年度のごみの排出量は、●●●、●●●●t(6月頃確定)となり、平成25年度と比較して●●、●●●●t(6月頃確定)減少となりました。				
平成26年度の検証結果	6月頃確定			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	ごみの減量化、資源化には市民の活動、協力が欠かせません。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	ごみの減量化、資源化には行政だけでは対応できません。地域住民への取り組みへの理解を進めるには市民団体等の協力は欠かせません。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	最小限の費用により、市民団体の協力やノウハウの提供が得られることは事業推進には妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ごみの減量化、資源化には行政だけでは対応ができません。きめ細かく対応するために、市民団体などの協力を求めて、市民の理解を求めていく必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 市民団体の活動が効果的に行えるように支援を行います。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		会議、キャンペーン等の実施。 講習会の実施	会議、キャンペーン等の実施。 講習会の実施	
財 源 内 訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		156	
	一般財源		3,309	
事業費 (A)		2,893	3,465	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
研究テーマや事業設定を行い、目標を定めた活動を支援していきます。

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2第2項により、市町村に一般廃棄物の収集、運搬、処分が義務付けられていることから行っている業務であり、かつ市民の日常生活に直結する業務のため、必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	日々排出される家庭ごみを滞りなく収集することにより、環境衛生の向上と高い市民満足度をえられる事業であり、有効性は極めて高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2第2項による市町村事業であり、全ての市民が対象となっています。そのため、事業の妥当性・公益性は大きいです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	定期的な収集体制の見直し等により、日々効率性の改善に取り組んでいます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 収集ルートの見直しと人員配置により、事業を効率化していくことが課題となっています。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		各種ごみ等の収集運搬	各種ごみ等の収集運搬	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		21,148	
	一般財源		117,333	
事業費 (A)		113,328	138,481	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
定期的な収集ルート・収集体制の見直し等により、各種ごみ収集方法の効率化、コスト削減に取り組みます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	資源再生物収集運搬事業		
事業担当	環境部 環境施設課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2		
対象・受益者	市民・自治会	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 市民、回収事業者 】		
	目的・目標	事業の概要	
	資源のリサイクルが進んでいます。	資源再生物（ペットボトル、プラケルを除く）の収集運搬を行います。また、資源再生物買上金制度により資源再生物1kg当たり5.5円を自治会に交付するとともに、資源の売却益の差分を平塚市資源回収協同組合に交付します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市資源回収協同組合との協議回数	単位	回
	説明・算定式	資源再生物を適切に収集運搬するために平塚市資源回収協同組合と協議を年4回行う。		
		平成27年度		
	目標	4		
	実績			
活動指標②	指標名	資源再生物の分別・排出の周知PR回数	単位	回
	説明・算定式	資源再生物を分別・排出する自治会に資源再生物の分別・排出の適切な周知PRを年4回行う。		
		平成27年度		
	目標	4		
	実績			
成果指標①	指標名	資源再生物回収量	単位	t
	説明・算定式	分別収集される資源再生物の総量		
		平成27年度		
	目標	16,750		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
資源再生物の分別排出が市民に定着し回収がスムーズに行われるようになりました。 平成26年度の資源再生物の回収実績は16,316トン。				
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民から出された資源再生物がリサイクルされており必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	社会全体で循環型社会を目指すと共に資源化に対する市民の満足度を継続する上で有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	資源再生物を分別する自治会に対し、市が買上金を支払い、資源回収協同組合がそれを回収し、その経費の不足分を市が負担している市民・組合・市の3者が協調した事業で循環型社会を目指す上で妥当性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	資源再生物の内プラクル・ペットボトル以外は全て資源回収協同組合が回収しており効率性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 市民・資源回収組合・市の3者が引き続き協調した事業展開が今後も望まれます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		資源再生物の買上・収集運搬	資源再生物の買上・収集運搬	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		34,000	
	一般財源		181,263	
事業費 (A)		162,407	215,263	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
資源再生物売却単価は経済状況などによる変動により予測が困難であり、資源再生物の回収量は人口減少によるごみ排出量の減少や新聞紙の自主回収等により毎年減少傾向にあります。今後の動向を見据えて買上単価の検討をする必要があります。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	交通安全対策指導事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
	児童、生徒や一般市民の通勤通学時の交通事故防止への意識が高まり、歩行者や自転車利用者の安全性が向上しています。	朝夕の通勤、通学時に平塚駅周辺や各地域において、児童や生徒、通勤者、自転車利用者等に交通安全指導を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	街頭指導活動日数	単位	日
	説明・算定式	学童の登校日数		
		平成27年度		
	目標	199		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	危険個所における交通事故発生件数	単位	件
	説明・算定式	各地域において危険個所と考えられ、街頭指導を行うこととした地点における事故発生件数		
		平成27年度		
	目標	0		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
児童生徒の登校時の交通安全指導及び各種交通安全運動における街頭指導を実施し、危険個所において交通事故防止に貢献しました。また平塚駅周辺において自転車の安全運転指導を実施し、自転車利用者のマナー向上を図ることにより、歩行者等の交通安全を確保することができました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業 分 析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	事業を実施することで交通事故防止の周知、交通安全意識の向上に寄与しています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	児童生徒や歩行者等の交通安全を確保するため継続して実施していくことが有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域、児童生徒の交通事故防止、歩行者や自転車利用者の交通安全意識の向上を目的としていることから業務実施については妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	委託して行っている事業内容について、状況変化を把握・分析し、地域の実情から必要性を判断しています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 各地域において危険個所の交通事故を防止するために、市民、特に児童生徒を対象として、交通安全に関する安全確保と街頭指導を通じて継続的にルールへの浸透を図る必要があります。また、駅地下道を中心とした周辺地域では、通勤通学時に自転車安全運転指導を実施しているものの、自転車の利用マナーが十分に浸透されていない状況です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		交通指導員地区活動業務委託 児童生徒交通安全対策業務委託	交通指導員地区活動業務委託 児童生徒交通安全対策業務委託	
財 源 内 訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		10,970	
事業費 (A)		11,001	10,970	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
地域、児童生徒の交通事故防止を図るため継続して実施します。交通指導業務に併せキャンペーンなどと連動してより一層地域の交通指導や啓発活動の充実を図っていきます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ブロック塀等倒壊予防策事業		
事業担当	まちづくり政策部 建築指導課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'02	2 被害を最小限に抑える防災の環境を充実する	
根拠法令等	平塚市ブロック塀等倒壊予防策補助金交付要綱		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
道路に面したブロック塀等の改善が促進されています。		ブロック塀等の倒壊による被害を防ぐため、道路に面したブロック塀等による危険度の実態調査を踏まえ、適切な改善の指導及び改善費用の一部を助成します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	補助制度周知手段数				単位	件
	説明・算定式	広報ひらつか、耐震相談会、各種イベントでのPR、ホームページ					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	4	4	4	4		
	実績	4	5	4			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ブロック塀等改善件数				単位	件
	説明・算定式	補助件数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	20	20	20	20		
	実績	6	18	11			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
広報紙やイベント等での事業PRを行うとともに、過去の調査者へのフォローアップを行い、11件の改善実績がありました。							
平成26年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ □ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	補助の利用について予定件数を超える問い合わせがあり、市民ニーズは高いと考えます。地震時における危険なブロック塀等の倒壊による被害を未然に防ぐことは、防災の観点から重要であり、市の関与が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 □ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	総合計画の基本目標を実現する施策として、危険なブロック塀等の改善は災害に強いまちの実現に有効であり、継続的な実施により危険なブロック塀等が減少し、地震時の被害を抑え防災環境の充実に繋がると考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	危険なブロック塀等の改善の促進は、災害に強いまちの実現に有効であり、改善への補助は妥当と考えます。補助額については、施策効果と受益者負担のバランスの観点から妥当であると考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 □ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	平成21年度の要綱改正において、補助金額の算定方法の合理化や、補助対象を拡充しました。平成22年度からは、除却工事における事業着手と交付申請時点の見直しを行い、より市民が利用しやすい制度に改めました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
<p>今後に向けた課題の分析</p> <p>平成27年度から除却工事を補助対象としており、制度のPRをするとともに、過去の調査者へのフォローアップ等を行い、危険なブロック塀等の改善を推進する必要があります。</p>				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		ブロック塀等の改善費用の一部助成	ブロック塀等の改善費用の一部助成	ブロック塀等の改善費用の一部助成	ブロック塀等の改善費用の一部助成
財源内訳	国庫支出金	466	1,818		1,350
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		1,223
	一般財源	571	2,754		427
事業費 (A)		1,037	4,572	2,623	3,000

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
ブロック塀等倒壊予防策補助金交付要綱を的確に運用し、当該事業の普及・啓発活動による既存の危険なブロック塀等の改善の必要性を広く市民に発信します。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	緑化まつり開催事業		
事業担当	都市整備部 みどり公園・水辺課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	緑化の推進及び緑の保全に関する条例		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
	市民の緑化に関する意識が高まっています。	多くの市民参加と協力を得て、平塚市緑化まつりを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	協賛団体の募集	単位	団体
	説明・算定式	緑化まつりの内容充実を図るため、協賛団体を募集する。		
		平成27年度		
	目標	30		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	来場者数	単位	人
	説明・算定式	緑化まつり来場者数		
		平成27年度		
	目標	50,000		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
第41回緑化まつりを4月26日(土)～27日(日)の2日間、平塚市総合公園で開催し、51,000人の来場がありました。植木市、花市、ペットボトルを使ったハンギングバスケット講習会、野鳥観察ツアー、樹木観察ツアー、くす丸くんとなっちゃんの家、緑の相談室、バラの講習会・挿絵づくり等の催し物を行いました。また、県立花菜ガーデンの春のイベント、八幡山洋館のパネル展と同時開催することにより、相互連携を図りました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	すでに41回開催しているまつりであり、市民に定着しています。緑豊かなまちづくりを進めるには、市民の緑化意識の高揚を図ることが必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多くの市民が来場するまつりを通して、緑の普及啓発等を行うことは、市民の緑化意識の高揚に効果的だと考えます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	出店テント等は参加団体の自己負担となっており、また、来場者への配布物の提供や協賛金等の協力があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	イベントの見直しの中、同規模での開催にも限界があるので、受益者負担等も考えながら、効率性を検討していきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 緑化まつりに来場された方が、何らかの形で「緑」に関心をもっていただけるよう、緑化意識の高揚につながる内容の充実を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		第41回平塚市緑化まつりの開催	第42回平塚市緑化まつりの開催	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		2,700	
	一般財源		0	
事業費 (A)		2,700	2,700	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
緑や水に関わる新たな人材や団体の参入を促すとともに、緑や水に手軽に親しみ、触れ合える内容の充実を図り、何らかの形で「緑」に関わっていただくきっかけづくりの場とすることを目指します。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	水洗化融資事業(下水道事業特別会計)		
事業担当	土木部 下水道経営課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	下水道法 平塚市公共下水道排水設備設置水洗化助成規則等		
対象・受益者	排水設備設置者	事業期間	昭和48年度 ~
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標	事業の概要	
	公共下水道に接続する、排水設備の整備や水洗便所が普及しています。	排水設備設置者に対して助成等を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	排水設備設置対象者に通知文送付回数	単位	回
	説明・算定式	供用開始後2年目及び3年目の方に送付		
		平成27年度		
	目標	2		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	水洗化率	単位	%
	説明・算定式	水洗化戸数÷処理戸数		
		平成27年度		
	目標	96.4		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
下水道水洗化普及促進のため、水洗化助成44件、共同排水設備助成1件を行いました。水洗化率は約96.5%です。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	排水設備の設置には高額な費用が掛かるため、助成や利子補給の援助により設置者の負担を軽減します。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	助成や利子補給の制度を設けることで、排水設備の設置を行う動機付けになります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	排水設備の設置には高額な費用が掛かるため補助額について十分とは言えませんが、市の財政状況から妥当と考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	水洗化資金の貸付を金融機関と締結することにより、市の事務経費を削減します。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 助成制度の周知については、工事説明会時のパンフレットによる説明やホームページへの掲載、対象者への通知文の送付などを行っておりますが、今後も接続促進に向け効果的な周知を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		水洗化助成、水洗化資金貸付あっせん、共同排水設備工事助成	水洗化助成、水洗化資金貸付あっせん、共同排水設備工事助成	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		3,670	
事業費 (A)		1,358	3,670	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
引き続き下水道法(第11条の3第5項)の趣旨に則り、対象者に対して助成又はあっせんを行っていきます。また、助成制度の周知についても、工事説明会時にパンフレットによる説明やホームページへの掲載、対象者への通知文の送付などを行っていきます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	水洗化普及事業(下水道事業特別会計)		
事業担当	土木部 下水道経営課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	下水道法		
対象・受益者	排水設備設置義務者	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標	事業の概要	
	公共下水道の利用が進み、市民が衛生的な生活を送っています。	供用開始後、公共下水道に未接続の家屋の調査を行い、公共下水道への接続を促進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	未接続家屋の訪問回数	単位	回
	説明・算定式	未接続家屋の全件に訪問		
		平成27年度		
	目標	1		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	水洗化率	単位	%
	説明・算定式	水洗化戸数÷処理戸数		
		平成27年度		
	目標	96.4		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
未接続家屋の全件に訪問し、普及促進の啓発を行いました。訪問件数は、計4303件です。また、下水道ふれあいまつりや下水道コンクールにより、普及促進のPRを行いました。設計審査は1321件、完了検査は1353件を行いました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	公衆衛生の向上・生活環境の改善並びに公共用水域の水質保全を行うため、行政が未接続件数を減らす必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	未接続家屋を継続的に訪問することにより、普及促進の啓発効果を高めます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業の目的及び下水道経営上からも必要です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	生きがい事業団に委託することにより、民間と比べ安価です。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 未接続家屋の全件訪問、下水道ふれあいまつりや下水道コンクールによるPRなどを行っておりますが、今後も普及促進に向け効果的な活動を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		水洗化普及促進 排水設備の設計審査及び完了検査(嘱託員賃金1人)	水洗化普及促進 排水設備の設計審査及び完了検査(嘱託員賃金2人)	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		3,157	
	一般財源		3,157	
事業費 (A)		3,658	6,314	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
引き続き未接続家屋の全件に訪問し、普及促進の啓発を行います。また、下水道ふれあいまつりや下水道コンクールなどで、普及促進のPRを行います。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	水洗化融資事業(農業集落排水事業特別会計)		
事業担当	土木部 下水道経営課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	平塚市農業集落排水設備新設工事資金助成規則等		
対象・受益者	排水設備設置者	事業期間	平成22年度 ~ 平成29年度
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標	事業の概要	
農業集落排水に接続する、排水設備の設置に係る一時的な経費負担が軽減しています。		農業集落排水に接続する排水設備の設置者に対し、貸付、助成を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	排水設備設置対象者に説明会開催回数	単位	回
	説明・算定式	供用開始前に開催		
		平成27年度		
	目標	1		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	水洗化率(農業集落排水)	単位	%
	説明・算定式	水洗化戸数÷処理戸数		
		平成27年度		
	目標	88.1		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①: 予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
農業集落排水水洗化普及促進のため、水洗化助成32件を行いました。水洗化率は約75.3%です。				
平成26年度の検証結果	A: 成果があがった			

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	排水設備の設置には高額な費用が掛かるため、助成や利子補給の援助により設置者の負担を軽減します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	助成や利子補給の制度を設けることで、排水設備の設置を行う動機付けになります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	排水設備の設置には高額な費用が掛かるため補助額について十分とは言えませんが、市の財政状況から妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	水洗化資金の貸付を金融機関と締結することにより、市の事務経費を削減します。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 助成制度の周知については、工事説明会時のパンフレットによる説明やホームページへの掲載などを行っておりますが、今後も接続促進に向け効果的な周知を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		農業集落排水水洗化融資事業	農業集落排水水洗化融資事業	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		2,515	
事業費 (A)		809	2,515	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
建設工事は平成27年度に終了予定、融資制度の申請期間は供用開始後1年以内となっています。引き続き対象者に対して助成又はあっせんを行っていきます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業		
事業担当	学校教育部 教育総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等	学校教育法第19条		
対象・受益者	就学援助児童・生徒	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
経済的な理由により、就学が困難な児童、生徒の保護者に対して必要な援助をすることにより、児童、生徒が安心して義務教育が受けられるようになっています。		義務教育を円滑に受けることができるようにするため、経済的な理由により就学が困難な児童、生徒の保護者に対して必要な援助をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支給認定件数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	2,600	2,600	2,600	2,600		
	実績	2,683	2,661	2,724			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	経済的な理由による欠席者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	0	0	0	0		
	実績	0	0	0			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
平塚市立小・中学校及び市内在住で神奈川県立中等教育学校に通う全児童生徒の保護者に対し制度の周知をし、申請に基づき認定審査を行いました。認定した保護者に就学援助費を支給し、児童生徒が安定した義務教育を受けることができました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	申請件数も多く、学校現場では事業の成果が高く評価され、法の規定により事業を実施し、児童生徒に安定した義務教育を受けさせる必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業を継続し保護者の経済的負担を軽減することにより、児童生徒が安定して義務教育を受けることができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	認定にあたっては、国からの通知や生活保護基準に基づき実施しており妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	援助費を国庫補助事業の基準に合わせており、制度の目的からコストの削減はできません。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 引き続き児童生徒が安定した義務教育を受けられるようにするため、国による生活保護基準の見直しによる影響を検証し、必要により認定基準の見直し等を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		就学費の援助	就学費の援助	就学費の援助	就学費の援助
財源内訳	国庫支出金	855	505		762
	県支出金	215	378		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	151,961	147,929		154,610
事業費 (A)		153,031	148,812	154,671	155,372

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
児童生徒が安定して義務教育を受けられるよう、引き続き適切な援助を行います。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特別支援教育就学奨励援助事業				
事業担当	学校教育部 教育総務課				
事業種類	○ハード ●ソフト				
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち			
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ			
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる			
根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱				
対象・受益者	特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者	事業期間			
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】				
目的・目標			事業の概要		
特別支援学級に就学する児童、生徒の保護者に対し、その負担能力に応じた援助をすることにより、保護者の経済的負担が軽減されています。			特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対し、その負担能力に応じた援助をします。		

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支給認定件数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	150	150	140	140		
	実績	135	150	159			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	適切に援助が行われている割合				単位	%
	説明・算定式	支給件数÷援助対象件数×100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	100	100	100	100		
	実績	100	100	100			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
特別支援学級に在籍する児童・生徒等の保護者に対し制度の周知を行い、申請に基づく認定審査により認定した保護者に就学奨励費を支給して、保護者の経済的負担を軽減しました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業 分 析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の要綱に基づいて実施するものであり、市の教育委員会 で事業を実施する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業を継続し、保護者の経済的負担を軽減することによ り、特別支援教育を円滑に受けることができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、そ の負担能力に応じた援助をするもので妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	国庫補助事業(市の単独事業一部有り)であるため、国の 基準に合わせることからコスト削減はできません。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 この事業は国庫補助事業であり、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施する必要が あります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		就学奨励費の援助	就学奨励費の援助	就学奨励費の援助	就学奨励費の援助
財 源 内 訳	国庫支出金	1,183	1,574		2,643
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	3,058	3,208		3,099
事業費 (A)		4,241	4,782	4,726	5,742

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
国の要綱に基づき、引き続き適切に事業を実施します。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	教職員福利厚生事業		
事業担当	学校教育部 教育総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	学校保健安全法、平塚市立学校教職員安全衛生管理規定		
対象・受益者	県費教職員	事業期間	
委託、協働	【委託：○3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：】		
	目的・目標	事業の概要	
県費教職員が良好な健康状態を保持し、また、適度なりフレッシュをすることにより、良好な学校教育が実現しています。		教職員の保健及び元気回復等、福利厚生に関して計画を立案し、実施します。また、学校教職員の健康診断を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	健康相談会利用者数	単位	人
	説明・算定式	健康相談会利用者を活動指標とし、事業の規模を確認します。		
		平成27年度		
	目標	44		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	健康相談会に係る利用者からの評価	単位	
	説明・算定式	健康相談会に係る利用者からの評価(5段階評価)の平均値		
		平成27年度		
	目標	4		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
学校職員の健康管理については、健康診断の日数を減じコスト削減を図り、学校教職員安全衛生委員会による安全衛生の推進・職場環境整備の推進・メンタルヘルス対策の推進・産業医による健康相談を実施しました。 健康相談会利用者は44人から40人とやや減少しましたが、参加者からの評価が高く、健康の保持増進を図りました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	健康診断は法令により義務付けられています。教職員が心身ともに健康で日々の教育活動にまい進することで、教育の継続性が保たれ教育の成果があがります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	教職員の生活習慣病等の早期発見・早期治療による健康管理に効果をあげています。教員は授業や行事のため受診が遅れがちですが、所属長による管理を徹底し、未受診を防止しています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	学校保健安全法施行規則で定められた項目について健康診断を実施し、法令に則り適正に運用されています。教職員互助会補助金については事業費の1/2以上を受益者負担金や会費により賄っています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	健康診断日の精選と日数の削減を図り、1日あたりの受診者は増えましたが、問題は生じていません。27年度は胃X線検査の日数を減じ、経費削減を図ります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 ・健康診断等については、労働安全衛生規則(省令)の一部改正によるストレスチェックの義務化や大量退職後の若年層の増大等による年齢構成の変化により、経費増が見込まれます。 ・教職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		教職員健康管理 市立学校教職員互助会補助金	教職員健康管理 市立学校教職員互助会補助金	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		14,482	
事業費 (A)		14,563	14,482	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
健康診断については教職員の年齢構成の変化及びストレスチェックの義務化により経費増が見込まれますが、胃X線検査の日数減により少しでも経費の削減に努めます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	学校教育の調査・研究、研修事業		
事業担当	学校教育部 教育研究所		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、教職員	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
教員の授業力が向上しています。また、児童が郷土平塚への理解と誇り、愛情を持っています。		教員の指導力向上を図るため、調査研究活動及び研修を実施します。児童が、郷土の歴史・地理・産物などを学び、郷土平塚への理解と誇り、そして愛情を育むために小学校3、4年生用の社会科副読本「わたしたちの平塚」を発行します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	調査研究部会の開催回数	単位	回
	説明・算定式	4つの調査研究部会が研究部会を開催した合計回数		
		平成27年度		
	目標	32		
	実績			
活動指標②	指標名	各種研修会の開催回数	単位	回
	説明・算定式	研究教室9回、ワンポイント研修2～5回		
		平成27年度		
	目標	12		
	実績			
成果指標①	指標名	研究成果発表等におけるアンケート	単位	評価
	説明・算定式	研究成果発表等におけるアンケートを4段階評価で実施した平均値		
		平成27年度		
	目標	3.2		
	実績			
成果指標②	指標名	参加者によるアンケート	単位	評価
	説明・算定式	参加者によるアンケートを4段階評価で実施した平均値		
		平成27年度		
	目標	3.2		
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
<p>教育講演会を1講座、研究教室を9講座、実施しました。研究教室参加者からは満足度の高さがうかがえる声があり、授業改善のきっかけとなりました。調査研究部会を3部会、個人・グループ研究奨励事業の部会を1部会設置し、研究活動を実施しました。研究が終了した3部会は研究冊子を作成し、すでに1部会については市内各学校に周知しました。</p>				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	教職員に対する研修の充実、学校設置者としての責任において市が実施すべき事業です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	教育講演会には教職員の70%が参加しているなど、研修に対するニーズは高い。研修の効果は、短期的に現れるものではないため、継続した事業展開が必要です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	教職員の指導力向上のため、研修等を実施することは妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	講師の謝礼・報償費などを検討し、最小の経費で効果的な事業を展開していきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 コスト削減に取り組みつつ、事業としての充実を図っていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		教育講演会、研究教室の実施。講師派遣。研究図書資料収集。	教育講演会、研究教室の実施。講師派遣。研究図書資料収集。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		7,014	
事業費 (A)		6,514	7,014	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
コスト削減の可能性を探りながら、研修の内容充実を図るとともに、教職員への研修に対するアンケート等を実施し、ニーズに合った研修の形態・内容を工夫します。また、多くの教職員が参加するよう、PRに努めます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	教育相談体制の充実事業		
事業担当	学校教育部 子ども教育相談センター		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、保護者、教職員	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
学校における教育相談体制を充実することにより、児童・生徒の心理的な悩みや問題が解決しています。		児童、生徒の様々な問題を解決するため、学校における教育相談体制を充実するとともに、訪問相談事業、各種研修会や研究会を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	研修会・研究会開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	22	23	25			
活動指標②	指標名	訪問相談実施日数				単位	日
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	208	208	208			
成果指標①	指標名	不登校児童出現率				単位	%
	説明・算定式	不登校児童数÷全児童数×100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	0.38	0.46	0.6			
成果指標②	指標名	不登校生徒出現率				単位	%
	説明・算定式	不登校生徒数÷全生徒数×100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	4	3.46	3.5			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
児童・生徒の様々な問題を解決するために、学校教育相談研修会、学校訪問事例研究会等を実施し支援の方法を探るとともに、教育相談・訪問相談においては、きめ細かい対応を行いました。実践的な内容の研修会の実施により、障がいの特性や実態に応じた適切な指導に活かすことができました。							
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	複雑化、多様化する問題に適切に対応したり、特別な配慮を必要としている児童・生徒に支援を行ったりするためには、教育相談や支援の体制づくりが重要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を実施することにより、一人一人の教育ニーズに応じたきめ細かな支援を行うことが可能になります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	様々なタイプの研修会や研究会を実施したり、色々な形の支援を展開することにより、特別な配慮を必要とする子どもの多様な教育ニーズに対応しています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相談体制や支援教育を推進充実していくために、相談スタッフ及び研修会の有効な活用が図られるよう努めています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 児童・生徒の問題解決に向けて、活用できる資源の収集や関係機関との連携がより重要となっています。支援のあり方を実践的に学び、よりよい支援につながるよう研修会の実施の仕方に工夫が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		訪問相談、各種研修会等の実施	訪問相談、各種研修会等の実施	訪問相談、各種研修会等の実施	訪問相談、各種研修会等の実施	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	
	県支出金	0	0		0	
	起債	0	0		0	
	その他 特財	0	0		0	
	一般財源	2,625	2,891		3,241	
事業費 (A)		2,625	2,891	3,078	3,241	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
研修会等の内容の工夫や課題に適した講師の選定に努め、よりよい支援ができるように今後も事業の内容を充実させていきます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域教育力ネットワーク推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
子どもたちが、同世代また様々な世代間との交流を通して、地域活動に主体的に参加し、豊富な生活体験、社会体験、自然体験を積み重ね、「生きる力」をはぐくむ教育環境が整えられています。		子どもたちの生きる力を育むため、各地区において、世代間交流、体験事業等を実施するほか、こどもサポート看板の設置、パトロール等の共通事業を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地域教育力ネットワーク各地区協議会事業数(平成26年度から)				単位	事業
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標			37	37		
	実績			38			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	こどもサポート看板設置世帯数				単位	世帯
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	2,260	2,270	2,270	2,270		
	実績	2,002	2,046	2,058			
成果指標②	指標名	各地区協議会事業における児童・生徒の参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3,700	3,700	3,700	3,700		
	実績	3,199	3,669	3,823			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
子どもたちの「生きる力」を育むため、各地区では様々な事業が実施されました。防災キャンプでは、災害体験学習を通じて防災に関する知識を身に付けたことや通学合宿では、集団生活の中での自主性、協調性、家族の有り難さなどを感じること、カルタ大会では、郷土愛を育むことやルールを重んじる姿勢が培われました。また、全地区共通事業として、見守りパトロール及びこどもサポート看板の設置・管理を実施し、地域で子どもたちを見守る活動を進めました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	子どもたちが地域社会へ主体的に参加し、様々な世代間交流、体験活動を積み重ね、生きる力を育むために、青少年関係団体や学校等で組織する地域教育力ネットワーク協議会は必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平成9年の発足以来、取組みが確実に定着してきました。地道な取組みの継続により、子どもたちの地域社会への主体的参加が図られ、家庭・学校・地域のネットワークが広がっています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業が子どもたちの「生きる力」を育むことに繋がっているのか「代表者会議」や「役員会」、「全体研修会」を通じて情報交換や検討を重ねており、支援は妥当であると考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	活動自体が各中学校区単位で、協議会が主体的に実施していることから、職員は会議や研修会等に従事するだけで、活動に対しては助言のみをしています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 各地区協議会がそれぞれの事業を実施する際、事業の企画、事前準備、当日運営、振り返りの各段階において、子どもたちが主体性を持って積極的に関わられるように、事業の進め方について改めて検討してもらうことが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	2,000	1,800		1,800
事業費 (A)		2,000	1,800	1,800	1,800

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
協議会組織の活性化、活動の拡充について定例会や研修会で情報交換をしながら検討していきます。また、多くの地区で子どもたちが芸術文化を体験できるよう検討していきます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	社会教育推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	社会教育法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 平塚市文化連盟 】		
	目的・目標	事業の概要	
社会教育に関し、社会教育委員会による建設的意見が活発に出されています。市民が文化活動の成果を発表することにより、市民文化が高揚しています。		社会教育に関する施策等を協議するため社会教育委員会を開催します。また、市民の文化芸術活動の普及と高揚を図るため、創作・発表の機会を提供することにより活動を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市文化祭に係る展示・発表会等のイベントの周知先件数	単位	件
	説明・算定式	平塚市文化祭に係る展示・発表会等のイベントの周知を図り、参加者増を図る		
		平成27年度		
	目標	93		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	文化祭の来場者数	単位	人
	説明・算定式	展示や発表等のコラボレーションにより来場者数増を図る		
		平成27年度		
	目標	8,500		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
昭和36年度から継続していた市民文芸を平塚市文化祭文芸部門公募展として統合し、俳句、短歌、川柳、子ども家族川柳部門を実施しました。子ども家族川柳では、心温まる293作品が集まり、家庭内でのコミュニケーションづくりのきっかけになりました。社会教育委員会では、「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策について」というテーマで昨年度に引き続き研究調査をしました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民が文化芸術に親しむ機会を提供することによって文化意識が高揚するとともに、生涯学習活動の推進に繋がるため必要性は高いと考えます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市文化祭及び平塚市展ともに参加者の活動意欲の向上を図っています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	文化祭公募展及び平塚市展においては、応募者から応募料を徴収し、事業の目的、対象、内容についても妥当性は高いと考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	年2回実施していた市民文芸を廃止し、文化祭(年1回開催)に統合し、改善を図りました。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 市民の文化活動がより推進されるよう、学習機会の充実や成果発表機会の拡充など、多くの市民が参加できる環境づくりが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		社会教育委員会議の開催、社会教育関係団体への支援、文化祭等の開催	社会教育委員会議の開催、社会教育関係団体への支援、文化祭等の開催	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		3,355	
事業費 (A)		3,344	3,355	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
芸術文化子ども体験事業を充実し、子どもたちが芸術文化を体験する機会を増やします。平塚市文化祭については、入場者や公募展応募者の増加を図るため広報活動を充実します。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	文化財保護事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	文化財保護法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
文化財に対する市民の愛護意識が広がっています。		歴史的に貴重な文化財及び文化遺産を保護するため、指定文化財の保存・活用や愛護意識の普及、埋蔵文化財の調査及び出土遺物の整理などを行います。また、文化財保護委員の職務に必要な経費等を支出します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	文化財保護に係る展示・発表会等のイベントの周知先件数	単位	件
	説明・算定式	文化財保護に係る展示・発表会等のイベントの周知を図り、参加者増を図る		
		平成27年度		
	目標	260		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	文化財保護に係る展示・発表会等のイベントの参加者数	単位	人
	説明・算定式	魅力ある展示や工夫をこらした発表等のイベントの充実により参加者数増を図る		
		平成27年度		
	目標	340		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
文化財保護委員会を3回開催し、新たに平塚市・東海大学所蔵の「弥生土器」3件を市の文化財に指定しました。市民参加事業として、「第3回遺跡調査研究発表会」を教育会館で開催し、174名の参加がありました。文化財調査事務所の開放事業として、「親子勾玉づくり教室」を4回開催しました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	文化財保護法に基づき、市として、長い歴史の中で守り伝えられてきた文化財に対する愛護意識を高める機会を創出し、次世代へと受け継いでいくために継続して支援することが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	日頃から文化財の適切な保存管理を行うことで、市民に文化財とふれあう機会を提供し、また本市の文化創造の向上にもつながるために有効です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 ■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	市指定文化財のほか、文化財は、その所有者(管理者)だけでなく、市、市民共有の財産として保存及び活用を図ることが重要であるため、活用事業や管理等に対する支援は妥当です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	事業形態や報告書の刊行については、検討の余地が残されています。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高 ● 中 ○ 低
<p>今後に向けた課題の分析</p> <p>文化財保護意識の普及・啓発を図るため、文化財の保存・活用を更に積極的に進める必要があります。市民が文化財に興味の持てる事業の企画・立案を行い実施するとともに、他事業との共同事業等を企画することで、更なる文化財保護意識の向上を図ることも必要です。</p>				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		埋蔵文化財調査結果の周知、児童・生徒等の研究成果発表機会の提供	埋蔵文化財調査結果の周知、埋蔵文化財調査成果発表会、史料展の開催	
財源内訳	国庫支出金		4,947	
	県支出金		1,649	
	起債		0	
	その他 特財		24	
	一般財源		18,352	
事業費 (A)		22,482	24,972	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
市民参加事業の実施を進め、幅広い世代の参加を図ることで、文化財への理解を深めます。また、博物館・図書館等の社会教育施設事業と連携して、市民の文化財に対する愛護意識、文化財保護の精神の高揚に努めます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地区公民館まつり等開催事業		
事業担当	社会教育部 中央公民館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等	社会教育法第22条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 地域住民等 】		
	目的・目標	事業の概要	
市民の学習成果発表の場を設けることにより生涯学習の理解が深められ、地域住民相互の親睦及び交流により地域コミュニティの醸成が図られています。		利用団体や地域団体が活動成果を発表する場や地域住民が参加できるレクリエーション等の場を設けます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地区公民館まつりのPR媒体数	単位	媒体
	説明・算定式	公民館だより、公民館へのチラシ配架、広報ひらつか、公民館ホームページ等		
		平成27年度		
	目標	4		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	地区公民館まつり来場者数	単位	人
	説明・算定式	平成24年度実績値(48,971人)をもとに平成27年度以降毎年各館約70人増を目指す。 ※平成25年度は悪天候による一部イベントの中止があるため、平成24年度を基準とする。		
		平成27年度		
	目標	50,720		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
市域全体及び各地区において学習成果の発表や地域での活動の発表の場、地域コミュニティの醸成を図るレクリエーションの場を設け、地域性を生かした内容で地区ごとに事業を展開することにより、生涯学習への理解や意欲向上、地域住民の交流が図られました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	社会教育法により、地方公共団体は社会教育の振興に努める義務があり、地域の実情等を踏まえて、住民の学習意欲の向上、健康の増進を図る事業を一層推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	公民館運営委員や事業の実行委員など、住民参加による事業の企画運営により、地域の特性を生かした内容で幅広い事業を展開していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	地域のより多くの住民が気軽に参加できる環境をつくるとともに、幅広い年代が参加できる機会の設けることにより、地域の住民の交流と親睦が深まり、地域や生涯学習への理解が高まります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> □ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	地域の特性を生かして地域住民が入っている運営委員会や実行委員会を含めて事業を実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 生涯学習への理解と意欲を高め、また地域のつながりを深めていくために、より多くの住民参加を図っていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		地区公民館まつりの実施	地区公民館まつりの実施	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		4,737	
事業費 (A)		4,862	4,737	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
公民館まつりをきっかけに公民館利用者が増えるよう、登録団体の活動や公民館事業の広報を積極的に行います。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	来館出来ない人への図書館サービス事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	図書館に来館出来ない市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： ボランティア】		
目的・目標		事業の概要	
図書館へ来館出来ない人が読書の楽しみを知り、知る自由の保障が図られています。		図書館に来館できない人のために移動図書館車等を活用し、入所施設等への出前図書館等を実施します。また、障がいのある方に対して、郵送等により資料の貸出を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	巡回回数(平成26年度まで)				単位	回
	説明・算定式	児童施設や入所施設への巡回回数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	76	75	63			
活動指標②	指標名	目の不自由な方専用の蔵書冊数(平成26年度まで)				単位	冊
	説明・算定式	デジジー録音図書等(冊数は墨字本1冊分にあたるデジジー録音図書を1冊としてカウント)					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	145	174	207			
活動指標③	指標名	登録団体数(平成27年度から)				単位	団体
	説明・算定式	幼稚園・保育所・ろう学校・老人福祉施設・地域文庫等の登録団体数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績				80		
活動指標④	指標名	来館が難しい方の登録者数(平成27年度から)				単位	人
	説明・算定式	視覚障がい等により図書館に来館が難しい方の登録者数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績				25		
成果指標①	指標名	貸出点数(平成26年度まで)				単位	点
	説明・算定式	移動図書館と出前図書館での合計貸出点数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	39,841	37,019	31,547			
成果指標②	指標名	訪問施設数(平成26年度まで)				単位	箇所
	説明・算定式	幼稚園、保育所等					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	10	10	10			

成果指標③	指標名	関係施設・団体への貸出回数(平成27年度から)				単位	回
	説明・算定式	幼稚園・保育所・ろう学校・老人福祉施設等					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					118	
	実績						
成果指標④	指標名	来館が難しい方への貸出点数(平成27年度から)				単位	点
	説明・算定式	視覚障がい者等への貸出					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					200	
	実績						

2 頁

進捗状況	①：予定どおり
	遅れている理由
平成26年度の主な取組と成果	
<p>出前図書館については、訪問施設数、巡回回数ともに減少しましたが、2公民館に返却ポストを設置し(合計9か所)、図書館に来館しなくても資料を返却できるように取り組みました。</p> <p>視覚障がい者への郵送貸出サービスについては、貸出件数は177点(平成25年度は264点、平成24年度は64点)で、前年比4倍となった平成25年度の約2/3となりました。</p>	
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	移動図書館の個人利用者は、平成26年度に延べ8,597人あり、移動図書館車を活用したサービスは必要とされています。
有効性	<input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	図書館から遠くにお住まいの方や、保育園等に通う子どもたちに対して、図書館サービスを提供することで、利用者の満足度を高めます。	● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	視覚障がい者サービスについては、利用者からの要望をもとに、貸出資料の対象や貸出点数を見直したことで、利用を増やすことができました。	○ 高 ● 中 ○ 低
効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	移動図書館の巡回については、ルートや停車時間の見直しにより、さらに効率的な運行を行える可能性があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 図書館に来館しにくい方に対して、移動図書館車を活用して図書館サービスを提供することは、市民の読書活動を支援する上で有効です。利用する施設に合わせて貸出方法や支援の方法を工夫して、さらに利用しやすくする必要があります。障がい者サービスについても、利用者の希望により細かく応じられるよう努めます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス等
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	4,493	3,460		3,370
事業費 (A)		4,493	3,460	3,589	3,370

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度 of 取組方針

駐車スペースが無いことや、隣接道路が狭いなどの理由で、移動図書館車が敷地に入車できず、出前図書館サービスが受けられない施設に対するサービス方法等を検討し、団体の利用を増やします。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ブックスタート事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	平塚市内在住の1歳未満の乳児・保護者	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: ブックスタートボランティア】		
目的・目標		事業の概要	
豊かな子どもの心が育ち、親子の絆が養われています。		地域のすべての赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を直接手渡します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ブックスタート実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	40	40	40	55		
	実績	45	47	56			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ブックスタートに参加した乳児の割合				単位	%
	説明・算定式	参加した乳児数÷乳児総数×100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	56	56	58	58		
	実績	48.8	49.5	51.2			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
6会場計39回実施し、つどいの広場「きりんのうち」で3回試行実施しました。夏季に開催日を増やし、全館で事前予約による個別対応を行うとともに、感染症が流行する12月～3月木曜午前に予約不要日を設け(14日)、合計931組参加がありました。フォローアップとして赤ちゃんおはなし会を全館で計45回実施し、合計1,520名が参加しました。							
平成26年度の検証結果	B: おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	実施により「赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さ」を保護者に体験していただき、豊かな心を育てられること、また保護者も赤ちゃんの心を通わせる安らぎの時間を持つところから、必要性が高い事業です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	常に新たな参加対象者がいる事業なので、性質上継続して実施することで、着実に参加者も増えています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	1歳未満の乳児とその保護者を対象としています。この時期だからこそ乳児、保護者にとっても普及啓発を図る必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティアを募集し協働で実施しています。今後、参加機会の拡大を図るためにボランティアの活動内容や役割分担等の一層の連携を目指します。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 ボランティアが丁寧に事業の趣旨を伝えながら絵本を手渡しすることで参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率向上のために、事業のPRと参加しにくい方のため実施機会の拡充を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	0	0		0
	一般財源	2,859	2,584		2,511
事業費 (A)		2,859	2,584	2,533	2,511

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
ボランティアとの協働によるきめ細かい対応を引き続き行うとともに、事業について広く知っていただくために関連部署との連携を行い、PRを行っていきます。さらに多くの乳児に参加していただけるよう、参加しやすい機会を設けます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	博物館特別展事業		
事業担当	社会教育部 博物館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'02	2 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 館事業参加市民】		
目的・目標		事業の概要	
学芸員の研究成果が、市民の知的共有財産となっています。		学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	特別展開催日数				単位	日
	説明・算定式	夏期・秋期・春期特別展、企画展、博物館文化祭の開催日数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	150	160	165	170		
	実績	154	153	163			
活動指標②	指標名	特別展開連事業開催日数				単位	日
	説明・算定式	期間中の講演会・見学会等					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	20	25	27	30		
	実績	27	32	53			
成果指標①	指標名	特別展開催期間中の入館者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	38,000	38,600	38,700	38,800		
	実績	43,062	35,555	34,642			
成果指標②	指標名	図録売上部数				単位	部
	説明・算定式	開催期間中の当該特別展図録売上部数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	550	630	650	660		
	実績	813	346	626			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
3回の特別展それぞれに平塚市博物館ならではの特色あるテーマを用い、市広報担当と連携してPRを強化しました。市民とともに進んできた市域の全石仏調査の成果を大きく公表して、平塚市博物館の活動姿勢を示しました。入場者数は伸び悩んだものの、来場した方からは高い関心を得て、展示図録の売上が大きく回復しました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	市民が人生の「豊かさ」を実感できる知的欲求に応える事業です。展示で実物に接するインパクトに加え、図録購入によって反復学習が可能です。新しい知的地域資源を拓く開発的的事业であり、市の関与が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	特別展は市民の知的要求に、実調査に基づいた高い水準で応えています。また刊行図録は限られた展示スペースを補うとともに、会期後も、展示を見逃してしまった市民へのサポートになっています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 ■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	教育普及活動で学び、スキルを得た市民が調査活動に寄与して、それが展示内容に結実しています。受益者が、学びを楽しみつつ数年後には供益者となるしくみです。展示図録として知的成果が市に蓄積されます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 □ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	外注部分を館内製作に切り替える等制作プロセスを見直し、制作経費の軽減に努めました。調査から制作まで、プロセス全般に市民が学芸員とともに参加しており、効率化が有効に行われています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
<p>今後に向けた課題の分析</p> <p>入場者が伸び悩んだ夏期の事業の方向性(目的・対象等)に検証・検討の余地があります。美術館、図書館との連携で、昨夏よりも凝ったスタンプラリーを行ないましたが、二度目となり広報面で訴求力を欠きました。今後は連携の質的变化が求められます。</p>				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		民俗部門等の特別展の開催	考古部門等の特別展の開催	天文部門等の特別展の開催	歴史部門等の特別展の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	1,762	1,482		1,543
	一般財源	4,204	4,236		4,546
事業費 (A)		5,966	5,718	6,112	6,089

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
展示により興味を喚起された市民が、行事に参加してノウハウを獲得し、新しい知識を生み出す側に回る、博物館を舞台とした循環型の生涯学習活動の起点とします。また、終了した展示図録についても利用促進を図ります。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民の市の歴史への関心が強まっており、これに応えるべく市史資料の収集や整理と市史の刊行が必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	収集された市史資料に関しては、庁内の各事業計画等に提供利用され、市民文化に還元され市民満足度も高いです。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市史資料の収集・整理、刊行物の作成は市民や研究者に平塚の歴史と文化を広く学習してもらうためのものです。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市史の編さんにあたって専門的な調査と検討を必要とし、専門家による執筆・助言と行政職による編集が不可欠です。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 市史の編さんの過程で集めた資料の整理・保管、市史販売の継続、市史収集資料を市民に将来公開するため関係各課とも協議の必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		平塚市史の編さんを行います。	平塚市史の編さんを行います。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		96	
	一般財源		6,016	
事業費 (A)		4,963	6,112	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
「平塚市史13(上)別編 寺社(1)」の編集作業を進め、発行を予定します。併せて収集した市史資料の整理を進め市民等からの要望に答えられるように検討をしていきます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある美術展覧会事業		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'02	2 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	観覧者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民の美術に関する知識の向上が図られ、優れた美術を鑑賞する機会が充実しています。		多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	企画展・特集展開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	9	10	10	10		
	実績	9	9	9			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	企画展・特集展観覧者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	82,000	85,000	85,000	90,000		
	実績	110,853	90,906	98,366			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
<p>「横山大観の富士展」「プラティスラヴァ世界絵本原画展」などの企画展3本と特集展で、年間9本の展覧会を開催した結果、幅広い年代層の観覧があり、98,000人を超える観覧者数となりました。</p> <p>また、横山大観の富士展では、富士山写真の市民公募や世界絵本原画展の子ども審査員賞の発表など、各企画展等で市民が参加できる取組を実施しました。</p>							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業 分 析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	企画展及び特集展で多様な展覧会を開催し、市民が優れた美術を鑑賞する機会を提供することができます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	展覧会の開催により、多くの市民が優れた美術に触れることが出来るとともに、継続することによりさらに美術への関心が高まります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の芸術・文化の振興という目的に合致しています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	展覧会を複数館で開催する巡回展やコレクターからの一括借用などにより経費削減を図ります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 リピーターの増加や美術に関心を持つ人を増加させるため、魅力ある展覧会や展覧会に合わせ市民が参加できる取組の継続を図ることが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額
事業内容		企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	起債	0	0		0
	その他 特財	31,731	29,326		31,971
	一般財源	5,703	7,717		3,743
事業費 (A)		37,434	37,043	39,606	35,714

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
公立美術館としての設置目的を果たすため、多くの方々に満足していただける展覧会事業を行います。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	美術教育の普及・体験事業		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	館を訪れる方	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
美術教育を通して、気軽に美術活動に取り組める機会が充実しています。		美術教育普及活動を推進するため、ワークショップを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ワークショップ等開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	30	30	30	44		
	実績	41	46	62			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ワークショップ等参加者数				単位	人
	説明・算定式	短期コース参加者数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	800	1,000	1,200	1,200		
	実績	1,072	1,550	1,840			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
ワークショップのメニューに展示会の関連事業を取り入れるなど、62の講座を行った結果、子どもや親子対象の講座はどれも好評でした。なかでも、「作ってあそぼうわくわくランド」講座は182名、「0才からの鑑賞ツアー」は137名、「遊んでのびのび赤ちゃんアート」は115名の参加があり、また、作家本人のワークショップには63名の参加がありました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	メニューによっては非常に多くの参加希望者がいることから、このような市民ニーズに応えるためにもワークショップの充実を図る必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	メニューを充実させるとともに事業を継続していくことが、美術教育の普及・体験に効果的と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	美術教育の普及・体験を図るため子どもから大人まで気軽に美術に触れる機会を提供していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	近隣の若手芸術家や作家本人、大学と連携した講座の開催を進めていきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 子育て支援の赤ちゃんアートなど、赤ちゃんから大人まで幅広い世代を対象としたワークショップの充実を図ることが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		キッズアート等のワークショップの開催	キッズアート等のワークショップの開催	赤ちゃんアート等のワークショップの開催	赤ちゃんアート等のワークショップの開催	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	
	県支出金	0	0		0	
	起債	0	0		0	
	その他 特財	400	0		0	
	一般財源	1,339	2,552		1,991	
事業費 (A)		1,739	2,552	2,077	1,991	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
子育て支援のワークショップ及び小学校と連携し小学生を対象としたワークショップの充実を努めます。

事務事業検証シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	美術品の調査・収集事業		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
根拠法令等			
対象・受益者	館を訪れる方	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標	事業の概要	
	館を訪れる方が優れた美術品に接し、収蔵作品を楽しんでいます。	美術品の収集活動・調査研究や保存活動等を行い、作品情報等をホームページや情報コーナーで公開します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	最新デジタル画像公開更新回数	単位	回
	説明・算定式	選定評価委員会開催後に新たに美術館の所属となった作品などを館内の情報コーナーで公開するための更新回数		
		平成27年度		
	目標	1		
	実績			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
成果指標①	指標名	最新デジタル画像公開件数	単位	件
	説明・算定式	選定評価委員会開催後に新たに美術館の所属となった作品などを館内の情報コーナーで公開		
		平成27年度		
	目標	44		
	実績			
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
		平成27年度		
	目標			
	実績			
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成26年度の主な取組と成果				
美術品の調査研究、保存及び収集活動を行った結果、34点の寄贈と21点の寄託がありました。松尾展など開催した展覧会を契機に作品18点が寄贈寄託されました。				
平成26年度の検証結果	A：成果があがった			

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	作品の収集・保存、収蔵作品を充実させていくことは、美術館の使命であり、必要性は高いです。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	収蔵作品、その他資料等の収集は、館を訪れる方の満足度向上につながるものであり、有効性は高いです。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	公の美術館として、目的達成のために行う各種業務(収集・保存・調査研究)であり、妥当性は高いです。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	収蔵作品の修復や虫害調査は、専門知識や技術が必要とされるため、効率性よりも確実性を追求する事業です。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 美術品の収集活動・調査研究を行い、所蔵品の充実を図っていくことが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成26年度 決算見込額	平成27年度 予算額	
事業内容		美術品の調査研究、保存及び収集活動を行います。	美術品の調査研究、保存及び収集活動を行います。	
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	起債		0	
	その他 特財		0	
	一般財源		3,393	
事業費 (A)		3,207	3,393	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
美術品の収集・保存など、保存業務についての経費削減を図ります。作品購入は難しいため、展覧会を通じて作家本人からの寄贈・寄託に努めます。